第０２００号（マルジほのぼの新聞）平成２８年１０月　購読料無料

1952年
昭和27年創業

200号記念
マルジ ほのぼの新聞

創刊2000年4月
2016年10月号
０２００号

これからもマルジ「ほのぼの新聞」をよろしくお願いします。

＊震災のお見舞い＊

東日本大震災、熊本地震などにより被害を受けられた皆様に、お見舞い申し上げます。また近年、未曾有の自然災害も相次いでおります。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

マルジは、被災地の復興支援を続けて参りますので、皆様のご協力のほど宜しくお願い致します。

101号～120号

WBC決勝戦当日　2009年3月24日

マルジ３号館では店頭にＴＶを設置。その応援をしているお客さまの風景を撮りに、NHK・日本ＴＶ各社が取材に来られました。３／２４の決勝戦は緑日と重なり力道山以来の街頭テレビ風景でした。

2009年 地蔵通りの街路灯 LED に総とっかえ!

エコで安全の「LED」電灯になりました。

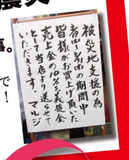
121号～140号

2011年
マルジの還暦
丸治洋品店がおかげさまで60周年を迎えました。

治

2011年３月11日
東日本大震災
被災地支援の為マルジに出来る事。

物資も足りずお困りのお客様がいるというので様々な商品を緊急入荷！そしてチャリティー活動が始まりました。



141号～160号

2012年５月
スカイツリー 634m 開業
はとバスのお客様も加わり巣鴨も大いに賑わいました。

2012年6月
千原ジュニア さん 初来店

2013年4月
マルジ友の会 お誕生日プレゼントはがき 郵送開始！

ほのぼの新聞 101号から200号の軌跡

161号～180号

2013年10月
マルジ がキャラクター オリジナル商品の 企画販売開始!

2014年3月　広島東洋カープの
「交渉権確定」赤パンツ
ドラフト会議で田村恵スカウトと大世良投手が履いていたのが赤パンツ。またこの年に**とっても強運「鯉の勝負パンツ」**として広島カープより受注しました。
広島カープの快進撃の予感・・！？

2014年9月
赤パンツ誕生20周年記念
adidas マルジ の独占販売!
２０周年記念として有名ブランドの紳士赤パンツ新発売！

181号～200号

申年の赤パンツ

申年に赤い下着を贈ると
＜病が去る、災いが去る＞
との言い伝えが日本各地にあります。

たくさんのオリジナル赤パンツを準備し迎えた申年に異変！

赤パンツが店内から消えた?

連日のマスコミ報道も重なり、お客様が殺到！店内には赤パンツの欠品が相次ぎ、通販部は一時期お休みする事態になりました。

200号～未来号

新時代の マルジ へ

「むびしばい」始まる!

映像コンテンツ「むびしばい」を各館で上映が始まります。
１０月５日よりスタートです。
2016年10月

ご愛読ありがとうございます、おかげさまで17年目の200号

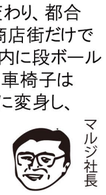
■阪神大震災から生まれた「マルジ新聞」

「マルジ新聞」が誕生したのは16年前の2000年4月、当時は手書きで私の自筆をコピーまたは印刷したもので、手書きの「マルジ新聞」は創刊から81号まで続きました。

1995年1月17日阪神淡路大震災勃発・・・・・当日早朝、私はいつものようにジョギングの準備をしながら、テレビのスイッチをONすると妙な光景がテレビ画面に映し出され、「あれ、何かドラマのシーンかな？」と思いつつ他局のチャンネルに変えましたが、どのチャンネルも同じ映像が・・・・・現実に起きた大震災だと、気づくにはしばらく時間がかかりました。関西には知り合いが多くおり、一瞬にして体が固まってしまいました。取り急ぎマルジに出勤し、少しでも被災地の仕入先やその社員達のお役に立てればと思い、その日のうちに仕入れ先の皆様に震災見舞いを準備し、当時社長だった父の名前で3日後に義援金を郵送しました。少し落ち着いた初夏のころ見舞いかたがた神戸を訪問し現地視察をしたのです。その間、大阪の肌着メーカー・三和（株）の加藤隆正社長様（当時）から、近所の人たちと共に命からがらに助け合った震災体験談などお聴きしました。神戸の人たちが震災の中から立ち上がることができたのは、人と人の「コミュニケーションと温もり」があったことを学び、マルジを「コミュニケーションと温もりがある店」にするため「マルジ新聞」を作る決意をしたのです。それは阪神淡路大震災のあった1995年の7月、私が45歳の時でした。それから5年の歳月を経て準備も整い「マルジ新聞」が誕生しました。

■そして創業65年目の200号

それから16年が経過し、その間ユニクロさんが都内1号店を原宿に出店、2001年にはアメリカでNY9．11テロが起き、03年マルジ1号館改築、04年は申年第一次赤パンツフィーバー、08年リーマンショック、11年東日本大震災、そして2016年「申年の赤パンツ」が日本全国のメーカーやデパートなどを巻き込み社会現象となったのは皆様もご存知の通りです。今ではマルジの赤パンツは、サンリオやワコール、FILA adidassなどのブランド化が進み、ついに「MARUJIブランドの赤パンツがほしい」と言われるようになりました。これも皆さまのご愛顧のおかげと感謝申し上げます。また芸能界でも千原ジュニアさんにご愛用戴き、最近では美輪明宏さんはじめマスコミ報道のお陰もあり、「赤」そのものが注目の的になっています。忘れてはならないのは、その間、愛川欣也さんの“アド街ック天国”で3回にわたりお世話になったことです。またテレビ番組の中で印象的なことといえば、氷川きよしさんと黒柳徹子さんの番組や、松潤さんの変装番組放送後にいつまでも追っかけのファンがマルジに来られたことです。この16年間に巣鴨地蔵通り商店街のお店も入れ変わり、都合100店ほどが入れ代り立ち代わり変化しました。変化したのは地蔵通商店街だけではなく、マルジ自体も大きく変化しました。「マルジ新聞」誕生当時は店内に段ボール箱があふれていて、「お宝箱があるようで楽しい」という人もいましたが、車椅子は通れませんでした。今では店内に「お休み処」やマッサージ器のある店に変身し、マルジのドラマ「むびしばい」が店内に流れています。人工知能の劇的進化は我々の商売にも必ず影響を与えます。それでもマルジは「幸福を生む店」を目指します。これまでも、これからも。 感謝合掌



マルジ社長

マスコミ伝説

赤の伝道師

ＴＶ制作会社には段取りの悪いＡＤさんもいる。ある時若い女性ＡＤが何度もＴＥＬして来た。閉店間際にも来る。

「何やってんのあんた…」と怒ってしまった。「済みません私、広島から出て来てまだ１ヶ月で何にも分らないんです」と涙声。親心が働き「これとこれと持って行って、こう言うんだよ」と指導する事もありました。

芸人さん武勇伝

フジＴＶ「すべらない話」で千原ジュニアさんがいきなり赤パンツ一丁で登場

「このパンツはずくいませんねん」

OK！

申年伝説

１２年前の申年もスゴかったが、今年の申年は輪がかかってスゴかった。申の柄だけでなく定番品も全て品切れ！売り切れて棚はガラガラ、申し訳ないので「欠品ザル」の絵を描いて、取材拒否にしたが　その欠品ザルを撮らせて下さいとの事。

何が受けるか分らぬでござる。

オーラ伝説

芸能界で最もオーラを放ち説得力のある方は、美輪明宏さんだろう。以前「オーラの泉」で美輪さんが「赤い下着を身に付けなさい」「赤はいいのよ」と発言されたを知らずに出勤し、HPの通販の注文数を見た時「ン、これは故障したのかな⁉」と思った程でした。その日、出荷で午前様になったのを思い出します。

ナベプロ伝説

大定幅伝説

コラボ商品

スポーツマン列伝

スポーツ関連の方は意外に少ない。具志堅用高さんや元巨人軍の角盈男さん、力士の舞の海さんや勢さんなど。

巣鴨とスポーツがうまくつながらないのかもしれません？

NG取材 モッコリ編

芸人さん達は赤パンツを履くと、頭に被ったり履いたりしますが、これはNG！帰って貰ったタレントさんもいますが、バナナマンさんの時はＴＶ局側が編集カットをしてＯＫとなりました。

赤パンツ登場

大変書きづらいテーマですが私にとっては「拝啓父上様」の黒木メイサさん。デビューしたばかりのピッカピカでした。２ショット写真は私の宝物です。その他にも美女、美熟女の方々に大勢お越しいただきました。（敬称略）

山口もえ、はるな愛(？)、植村花菜
西川峰子、磯野貴理、生稲晃子
井森美幸、三船美佳、
AKB 小島はるな
神戸蘭子、
原日出子、
藤吉久美子
モデルさん多数
他

女子列伝

ラジオ

新聞

雑誌

常務

ウットリ

イケメン列伝

AD こぼれ話

人気絶頂時の氷川きよしさんと黒柳徹子さんが変装して当店に来店されて、赤パンツやふんどしを購入しました。ＴＶで放送されると、全国のきよしファンからＴＥＬが殺到！「何を買って行ったの？」「それ頂戴！」「歩いた場所を教えて」など。極めつけは鹿児島のおバアちゃん「買ってった物全部くれ！」

私「でもふんどしもありますよ？」

「いいよ、首に巻くから」

出没! アド街ック天国

若返る街 巣鴨スイーツ

巣鴨地蔵通りの老舗と

巣鴨 ときわ食堂

大衆食堂でお馴染みのときわ食堂さん。明るく元気な店内は、いつも活気にあふれています。お手頃価格でボリューム満点。ほかほかのご飯に自家製のぬか漬け揚げたての美味しさはお客様も大満足の人気店です。

名物のエビフライ

創業 1922 年（大正 11 年）の老舗加瀬政さんでは、シェフのこだわり抜いた食材から生まれる絶品の数々。どれも一度食べたら忘れられない美味しさです。

新時代のお店

栃の木や

昨年夏にオープンして以来、たくさんのお客様に親しまれています。
栃木のゆばをはじめ、銘柄牛である鹿沼牛など美味しいのにメジャーでない食材を使った料理も頂ける、ゆば創作料理店です。

生ゆばのお刺身